

令和7年度 認知症地域支援推進員の活動実績

認知症地域支援推進員とは

国が、2025年を見据え、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、平成 27 年度に策定した「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」(新オレンジプラン)の総合的な推進役として位置づけられ、平成 30 年度から全国のすべての市町村に配置されました。

《国の示す認知症地域支援推進員の基本的な役割》

- I 医療・介護等の支援ネットワークの構築
- II 関係機関と連携した事業の企画・調整
- III 相談支援・支援体制の構築

川越市では、年4回の対面による認知症地域支援推進員会議を開催し、認知症にかかる各種事業の検討や見直し、事例や情報共有を図っています。

1 配置人数（令和8年3月末時点）

地域包括支援センター	32名
地域包括ケア推進課	8名（うち福祉相談センター5名）
合計	40名

川越市では、平成28年度から地域包括ケア推進課に配置し、令和 2 年度からは各地域包括支援センターにも 1 名以上配置しています。

2 認知症地域支援推進員会議の開催

認知症地域支援推進員間の情報共有や事業の検討等、連携を図るため、令和7年度は会議を4回開催しました。

	日時	会場	主な議事・報告事項
第1回	令和7年 5月22日(木)	川越市北公民館 会議室1・2号	☐ 認知症地域支援推進員について ☐ 福祉相談センターの主催事業について ☐ 本人ミーティングについて ☐ 認知症のある方の買い物支援について ☐ グループワーク —認知症ケアパスについて—
第2回	令和7年 8月28日(木)	川越市北公民館 会議室1・2号	☐ アルツハイマー月間について ☐ グループワーク —本人向け認知症ガイドについて—
第3回	令和7年 11月27日(木)	川越市北公民館 会議室1・2号	☐ アルツハイマー月間について ☐ 認知症伴走型支援事業について ☐ グループワーク —本人向け認知症ガイドについて—
第4回	令和8年 2月26日(木)	川越市北公民館 会議室1・2号	☐ 来年度の日程・研修会について ☐ 認知症サポーター養成講座におけるキャラバン・メイトについて ☐ 本人向け認知症ガイドブックについて

3 主な取組内容

国が示している推進員の主な役割「Ⅰ～Ⅲ」を取組の柱として活動を行いました。

Ⅰ 医療・介護等の支援ネットワークの構築

川越市お帰り安心ステッカー周知ポスターの掲示依頼と配布

市民への普及啓発のため、配布先の検討を行い、市内医療機関や銀行、郵便局、民間商業施設(スーパー、コンビニ、ドラッグストア)等へ周知ポスターの掲示依頼と配布を行いました。また、コミュニティケアネットワークかわごえに協力いただき、賛同事業所へ配布しました。

- 依頼先店舗 計 605件
- ポスター配布枚数 計1,060枚



川越市お帰り安心ステッカーにより、身元が判明した事例(令和7年度)

- 救急車にて搬送された際、ステッカーを活用して家族と連絡が取ることが出来た。
- 迷い人の通報で警察官が現場に行った際、ステッカーが貼ってあったことで、直ぐに家族と連絡を取ることが出来た。
- 本人が「道に迷った」と市民センターに来所。市民センターの職員がステッカーに気づき、当課に連絡があった。登録された情報を元に、家族に連絡。家族が市民センターに迎えに行き、一緒に帰宅することが出来た。

Ⅱ 関係機関と連携した事業の企画・調整

1、本人ミーティングの開催

令和3年度に開催した「本人ミーティング～当事者の思いを聴く～」の振り返りを行い、認知症の当事者同士が話を共有できる場所の大切さを改めて実感したことから、令和4年度より認知症地域支援推進員を中心に本人ミーティングを定期的で開催しています。

また、令和7年度より本人ミーティング終了後の約1時間をそのまま会場を開放し、自由に交流できる場を提供しています。実際には、当事者同士で、気軽に会話を楽しんでいる様子がみられます。

□ 参加者

実人数:10名(延人数:50名)、60代～90代

	日時	会場	主な話題
第1回	令和7年4月10日(木) 午前10時00分～11時00分	子育て安心施設 「すくすくかわごえ」多目的室 (以下、すくすくと表記)	「今だから楽しめていること」 「毎日の生活で気を付けていること」
第2回	令和7年5月8日(木) 午前10時00分～11時00分	すくすく	「今だから楽しめていること」 「毎日の生活で気を付けていること」
第3回	令和7年6月12日(木) 午前10時00分～11時00分	すくすく	「毎日の生活で気を付けていること」 「毎日の生活で工夫していること」
第4回	令和7年7月10日(木) 午前10時00分～11時00分	すくすく	
第5回	令和7年9月11日(木) 午前10時00分～11時00分	すくすく	「(この1か月を振り返って)毎日の生活で気を付けていること」 「毎日の生活で工夫していること」
第6回	令和7年10月9日(木) 午前10時00分～11時00分	すくすく	
第7回	令和7年11月13日(木) 午前10時00分～11時00分	すくすく	
第8回	令和7年12月11日(木) 午前10時00分～11時00分	すくすく	本人用のガイドブックの作成にあたり、「あれ?おかしい」と気づいたときの気持ち」「受診したときに気持ち、現在の気持ち」
第9回	令和8年1月8日(木) 午前10時00分～11時00分	すくすく	
第10回	令和8年2月12日(木) 午前10時00分～11時00分	すくすく	「認知症にやさしいまちづくり…皆さんにとって「やさしいまち」とは」
第11回	令和8年3月12日(木) 午前10時00分～11時00分	すくすく	「今に至るまでの自分自身の変化、周囲の辺り変化などについて」「あれ?何がおかしいと気づいたときの気持ち」 「認知症にやさしいまちづくり…皆さんにとって「やさしいまち」とは」

認知症の本人からの言葉(一部抜粋)

- いろいろな認知症がある、なかなか自分を理解してもらえない。困っていることを理解してもらえないってことは辛いこと。
- 自分を隠さなくて済む仲間なので、ここで言いたいことをべらべら言うと心が休まる。知らない人から見える私は「なんでもない人」。ここに来ると自分を出せるので、とても気持ちがいい。
- 認知症の人は普通の人。認知症だから何も出来ないのではなく、出来ることをやるだけ。

2、9月21日世界アルツハイマーデーにおける認知症普及啓発パネルの展示

① パネル展示

認知症に対する理解の促進を図るため、パネル展示を実施しました。併せて、認知症に係る各種チラシも市民が自由に取得できるよう設置し、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行いました。

- 場所 川越市役所 1階ロビー
- 期間 令和7年9月16日(水)～22日(火)
- 場所 川越市民サービスステーション(U PLACE3階)
- 期間 令和7年9月12日(金)～26日(金)



② パンフレット配布

認知症の人と家族の会と連携し、世界アルツハイマーデー(9月21日)に関するパンフレットを配布し、普及啓発を行いました。

- 場所 川越駅西口及び東口デッキ
- 日時 令和7年9月21日(日) 11時～12時



③ 市立図書館での周知実施(地域包括支援センター中央ひがしと共催)

川越駅東口図書館において、認知症に関するコーナーを常設し、認知症の本の展示および認知症に関する市の取組などの周知を行いました。

□ 期間 令和7年8月29日(金)～9月21日(日)



④市立川越高等学校での周知

市立川越高等学校から提案があり、アルツハイマー月間に合わせ、高校の昇降口において認知症に関するコーナーを設置し、認知症の本の展示および認知症に関する市の取組などの周知を行いました。

□ 期間 令和7年9月8日(月)～30日(火)



参考 地域包括支援センターでの取組事例

アルツハイマー月間に合わせ、認知症に関するコーナーを設置し、認知症に関するパネルや本および地域の方々が作成したマスコット等の展示を行い、普及啓発を行いました。

・地域包括支援センターみなみ

□ 場所:福原公民館(入り口正面のスペース)/南公民館(受付前ロビー)

□ 期間:令和7年9月8日(月)～9月26日(金)/令和7年9月10日(水)～9月30日(火)

・地域包括支援センターだいとう

□ 場所:大東公民館1階ロビー

□ 期間:令和7年9月9日(火)～9月26日(金)

・地域包括支援センターにし

□ 場所:みなみかぜ内

□ 期間:令和7年9月から常設展示



3、第13回 医療介護フォーラム「安心して認知症になれるまちづくり～本人とともに考える～」

昨年度のテーマは「認知症」。本人ミーティングに参加している当事者の方3名が登壇し、ご本人の思いなどを語ってくれました。

- 場所 ウェスタ川越 大ホール1階
- 日時 令和7年 10 月 26 日(日) 13 時～15 時
- 共催 コミュニティケアネットワークかわごえ・川越市



4、認知症ガイドブック別冊「認知症になっても～安心して暮らし続けるための道しるべ～」の作成

認知症のある方ご本人向けのガイドブックとして、本人の声や工夫を掲載した冊子を作成しました。

5、各事業の実施に向けた検討(主な事業)

下記の主な事業については、認知症地域支援推進員会議において検討を行いました。

① アルツハイマー月間

認知症についてより広く普及啓発を行うため、それぞれが実施している啓発について情報を共有しました。

② 本人ミーティング

当事者の方がより参加しやすいように、実施場所や回数について検討を行い、令和7年度は子育て安心施設「すくすくかわごえ」にて11回実施しました。

③ 認知症ケアパス^{※1}

認知症の方やその家族にとってより活用してもらえるよう改善点や課題について共有しました。

※1 認知症ケアパスとは

認知症の方やその家族が「いつ」「どこで」「どのような」医療や介護サービス、相談窓口、認受診先などをまとめ、認知症の状態に応じたサービス提供の流れを見える化したもの。

国は、全市町村で認知症ケアパスを作成されることを目標に掲げている。

Ⅲ 相談支援・支援体制の構築

認知症の人や家族への相談支援

① 認知症に関する相談対応

・福祉相談センター	1,143件(相談受理件数)
・地域包括支援センター	12,913件(相談受理・対応件数)

② 認知症ケア専門相談事業との連携した相談支援

・医師による認知症相談会	計29組(11回)
・認知症ケア専門相談会	計13組(12回)